

# 水の公平な配分

日本の属するアジアモンスーン地帯は降雨の季節的変動が大きく、農業用水を確保するため池“が発達した。ため池は紀元前の中国淮河・長江流域に生まれ、朝鮮半島には中国から五世紀頃に伝わった。

日本最古のため池は、大阪狭山市の中野川（旧天野川）の谷筋を塞ぎ止めたダム式ため池で、堤の東端から築造当初のコウヤマキ製の樋管が見つかり、その年輪年代から六一六年頃に誕生したことが確定した。

狭山池は、粗朶を敷設して盛土を補強する築堤工法が特徴的であり、その土木技術系譜は朝鮮半島の百濟に求められる。当時の古代国家は治水灌漑施設の整備を進める中で、百济に要請し、その先端的土木技術の提供を受けたのである。

日本の属するアジアモンスーン地帯は降雨の季節的変動が大きく、農業用水を確保するため池“が発達した。ため池は紀元前の中国淮河・長江流域に生まれ、朝鮮半島には中国から五世紀頃に伝わった。

日本最古のため池は、大阪狭山市の中野川（旧天野川）の谷筋を塞ぎ止めたダム式ため池で、堤の東端から築造当初のコウヤマキ製の樋管が見つかり、その年輪年代から六一六年頃に誕生したことが確定した。

狭山池は、粗朶を敷設して盛土を補強する築堤工法が特徴的であり、その土木技術系譜は朝鮮半島の百济に求められる。当時の古代国家は治水灌漑施設の整備を進める中で、百济に要請し、その先端的土木技術の提供を受けたのである。

大阪府立狭山池博物館  
館長

こやまだ こういち  
**小山田 宏一**



狭山池は現在まで改修が重ねられてきた。奈良時代は行基、鎌倉時代は重源、江戸時代は片桐且元など、歴史上の有名な人物がかかわっている。一番新しい改修は、狭山池の洪水調整機能を大幅に増強する平成の大改修である。私の勤める狭山池博物館は、この平成の大改修とともに埋蔵文財の発掘調査で見つかった貴重な土木遺産を未来に継承する土木の博物館である。狭山池の科学的な年代が判明したのも、この調査の大きな成果の一つである。

狭山池は江戸時代を迎える頃になる

と、灌漑範囲は大阪市平野区付近まで拡大し、八十ヶ村、四千二百ヘクタールを潤すようになった。このような広域な灌漑範囲を支えた水利システムが、村々の石高に応じて狭山池水の分水時間を見めた番水である。番水は原則、上流から下流に進むが、下流の村々が水を取り時、上流の村々は池水の取り口を閉めなければならないという約束事があり、このことが破られると水争いがおきた。

スリランカや中国にも番水に類似した水利慣行があり、アジアモンスーンの水田稻作地帯には、社会的資源である。

る水は公平に分配しなければならないという哲学が見て取れる。番水に代表される水利慣行は、権力側が定めたものではなく、農民が持続可能な社会をつくるために編み出した水資源を利用・管理するルールであり、地域社会を維持するシステムである。

わたしは、暮らしの生命線である水の歴史から「水の尊さ」を啓蒙していきたと考えている。薰風の季節を迎え各地で田植がはじまつた。川や水路に堰をたてて田に水をはり、苗を植えていく。水面は空や景色を映し出す水鏡になる。何気ないいつもの景色だが、「水の尊さ」を肌で感じて頂きたいと思う。

## (略歴)

1955年、鹿児島県生まれ。  
同志社大学文学部卒。  
大阪府教育委員会、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立狭山池博物館、奈良大学文学部教授を経て、2021年4月から大阪府立狭山池博物館館長。  
専門は東アジアの治水灌漑史とその土木技術。